

議会のトピックス

TOPICS

議案の審議結果

常任委員会の報告

議員一般質問

議長交際費・政務活動費の公表

2 回の臨時会を開催し

新型コロナ対策予算を議決



可児市秋季支部長杯 優勝 全員野球！ 全力プレー！（帷子ライガース）

【2019年11月30日撮影】

新型コロナウイルス感染症に対する支援対策を審議

令和2年第2回臨時会を4月30日、第3回臨時会を5月18日にそれぞれ会期1日で開催し、新型コロナウイルス感染症に対する総合支援対策に関する補正予算などを審議しました。

続いて、第4回定例会（バラ議会）を5月29日から6月25日までの28日間の会期で開き、一般会計補正予算などを審議しました。

新型コロナウイルス感染症に対する総合支援対策（補正予算）の主な内容

◆第2回臨時会（補正第1号）

特別定額給付金

…………… **102億9,000万円**

家計支援のため、市民一人あたり10万円を給付

子育て世帯への臨時特別給付金

…………… **1億4,650万円**

児童手当の対象児童一人あたり1万円を上乗せ支給

かにっこ応援特別給付金

…………… **1億5,310万円**

子育て世帯応援のため、中学生以下の子ども一人あたり1万円の特別給付金を支給

雇用調整助成金の上乗せ助成

…………… **5,760万円**

国の支給する雇用調整助成金への上乗せ（上限100万円）

その他

- ・融資における信用保証料の補給
- ・かに飯応援プロジェクトへの補助
- ・職員の緊急雇用
- ・学校支援員（スクールサポーター・通訳サポーター）の増員 等

◆第3回臨時会（補正第2号）

プレミアム付Kマネー発行

…………… **29億2,000万円**

地域経済の活性化・賑わいづくりのため、20%のプレミアム付Kマネーを発行（発行規模18億円）



◆第4回定例会（補正第3号）

小学校ICT環境整備…………… **4億3,080万円**

中学校ICT環境整備…………… **2億1,550万円**

児童・生徒1人1台の情報機器端末（タブレット）を整備

一般会計予算額

補正前	補正額			補正後
	第1号	第2号	第3号	
315億5,000万円	109億4,300万円	29億2,000万円	6億6,600万円	460億7,900万円

提出された議案と審議結果



第2回 臨時会

提出された議案は、承認6件、予算2件、条例2件で、すべて原案のとおり全会一致で可決されました。

番号	件名	結果
承認	1 税条例等の一部改正の専決処分	◎
	2 地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正の専決処分	◎
	3 都市計画税条例の一部改正の専決処分	◎
	4 国民健康保険税条例の一部改正の専決処分	◎
	5 介護保険条例等の一部改正の専決処分	◎
	6 消防団員等公務災害補償条例の一部改正の専決処分	◎

番号	件名	結果
議案	33 令和2年度一般会計補正予算（第1号）	◎
	34 令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	◎
	35 国民健康保険条例の一部改正	◎
	36 後期高齢者医療に関する条例の一部改正	◎

第3回 臨時会

提出された議案は、承認2件、予算1件で、すべて原案のとおり全会一致で可決されました。

番号	件名	結果
承認	7 税条例の一部改正の専決処分	◎
	8 都市計画税条例の一部改正の専決処分	◎

番号	件名	結果
議案	37 令和2年度一般会計補正予算（第2号）	◎

第4回 定例会

提出された議案は、予算1件、条例8件、人事1件、契約2件で、すべて原案のとおり全会一致で可決されました。

番号	件名	結果	
議案	38 令和2年度一般会計補正予算（第3号）	◎	
	39 税条例の一部改正	◎	
	40 都市計画税条例の一部改正	◎	
	41 国民健康保険税条例の一部改正	◎	
	42 手数料徴収条例の一部改正	◎	
	43	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	◎

番号	件名	結果
議案	44 老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の廃止	◎
	45 介護保険条例の一部改正	◎
	46 市民公益活動センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	◎
	47 農業委員会委員の任命	◎
	48 請負契約の締結	◎
	49 請負契約の締結	◎

【結果の表示記号】 ◎全会一致で可決

議案の詳しい内容については、議会ホームページで確認いただくか、議会事務局窓口で閲覧することができます。

常任委員会報告

第4回定例会の議案審査等の概要です。

予算決算委員会

今期定例会では、令和2年度補正予算の審査を行いました。

一般会計補正予算

Q 児童生徒への1人1台タブレットの貸与時期は。

A 年度内を目指し、できるだけ早く貸与したいと考えている。

Q 学校休業などの緊急時に有効なオンライン授業導入についての考えは。

A 現在、児童生徒の各家庭のネット環境を調査しており、その結果を受けて対応を考えていきたい。

Q タブレット導入後の維持管理経費は。

A 端末の買い足し等の維持経費は基本的には本市で負担する。

Q タブレットの使用モラルは。

A 学校の授業で使い方や情報モラルを指導していく。学習に關係ないサイトへ児童生徒がアクセスできないようタブレットにフィルタリングをかける。また、保護者への啓発もしていく。

Q 除草等道路清掃業務委託料は。

A ロードサポーターなどの団体の活動自粛により、除草等ができなかった箇所への対策費である。

総務企画委員会

マイナンバー通知カードを廃止

手数料徴収条例の一部改正について審査しました。

Q 通知カード廃止により、現在保有のものは無効になるのか。

A 番号確認のための本人確認書類として利用することは可能である。カードを紛失した場合は、マイナンバー付の住民票を取得すれば番号を確認することができる。

建設市民委員会

市民公益活動センターに定休日

市民公益活動センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について審査しました。

Q 定休日を設けることでどんな効果があるのか。

A センターのスタッフの負担軽減につながる。また、人件費が

高騰しているが、定休日(火曜日)を設けることで指定管理料を現在と同程度にすることができる。

Q 利用者への周知方法は。

A センターのホームページ等でPRしていく。

教育福祉委員会

国民健康保険税の減免について

Q 減免要件の新型コロナウイルス感染症による重篤な症状とは何か。また、減免の対象期間は。

A 概ね一ヶ月以上の入院を要した場合で、医師の診断書で確認を行う。減免の対象は令和2年2月から令和3年3月までの納期分である。

可児市老人デイサービスセンターの廃止について

Q デイサービス廃止後の建物は何に使うのか。

A 高齢者の介護予防や社会参加に資する事業で使用する。



一般質問

5人が市政を問う

市の方針や市民の皆さんの生活に関わる大切な内容について議員が市に対して質問を行いました。

第4回定例会においては、新型コロナウイルス感染症対策として、左記の事項を事前に取り決めた上で、質問を行い、会議時間の短縮を図りました。

なお、一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。ご不明な点は議員にお尋ねください。

第4回定例会における一般質問の取り決め

- 質問は原則会派を代表して行うものとする。
- 会派の持ち時間は60分とする。
- 会派に属さない議員については、持ち時間を1人30分とする。

可児市議会 会派構成 (第4回定例会時点)

会派名	構成議員 (□は質問者)
会派きずな	澤野 伸 □ 田原 理香 川合 敏己 板津 博之 伊藤 壽
可児未来	川上 文浩 □ 天羽 良明 中野 喜一
自由民主クラブ	亀谷 光 林 則夫
日本共産党可児市議団	伊藤 健二 富田 牧子 □
可児市議会公明党	野呂 和久 山田 喜弘 □
真政会	大平 伸二 中村 悟
立憲民主党市民の声	山根 一男 □ 渡辺 仁美
保守の会	勝野 正規 奥村 新五
会派に属さない議員	酒井 正司 松尾 和樹

コロナ感染症の市の危機対応と今後に向けて



たはら かり香

Q 市のコロナ感染症対策において、公共施設の利用制限が小出しの印象を受けるが、その判断基準はどこにあるのか。これまでの経験をどう生かしていくのか。また、この間の高齢者の状況をどのように捉え、対応していくのか。

A 県からの感染者情報と市内の発生状況、国や県の専門家会議の意見等を基に判断。現場と本部での双方の円滑な情報伝達に留意し、対応していく。

高齢者においては、認知症と虚弱の進行が心配。地域包括支援センターが中心になって相談を受け、支えていく。

可児御高インターチェンジ
工業団地開発事業の見通しは

Q 経済の先の見通しが立た



総事業費約47億円
可児御高IC工業団地開発

ない中、状況を整理した上で新しく戦略を立て直すことが必要。見通しをどう考えるのか。新たな経済の道筋が出来るまで、一旦立ち止まる考えはないか。

A 企業が欲しいと思った時に用意をしておくことが、今一番市にとって大事である。大半のエコノミストの見解では、従前までの回復は数年後になると予測。最適なタイミングで分譲できるように準備をしていきたい。

新型コロナウイルスによる市への影響は



かわかみ ふみひろ
川上 文浩

Q 新型コロナウイルス対策を考慮した災害時の避難、避難所の在り方は。

A まずは分散避難である。車中泊は極力避け、避難所が過密状態となることを防ぐために自宅にとどまることや可能な場合は親戚や友人宅への避難、あるいはホテルをはじめ安全な民間施設への避難を検討してもらう。避難所収容人数を考慮し、同時に全避難所を開設することを検討する。併せて民間施設を避難所として活用できるように検討する。また、避難所における専用スペースの確保を行う。作成したマニュアルに基づき、9月の防災訓練で新型コロナウイルス対策のための訓練を実施する予定である。

市の行事への影響は

Q 現時点で市の行事への影響はどの程度か。

A 延期や中止、縮小を含めた事業は18件である。その総額は1599万4千円であり、そのうち一般財源は1434万5千円で、中止になった主な事業は、可児夏まつり、国際陶磁器フェスティバルの協賛展、地区センター主催講座などである。



コロナ対策をした避難所開設訓練(6月開催)

コロナ感染症に対する 更なる支援策を



富田 美子

Q これまでの在宅勤務や休校の長期化、また手洗いの励行などで家庭の水道使用量は増加している。水道基本料金の減免はできないか。

A 本市においては口径13ミリの給水件数は約2万9400件で、全体の87%を占めているが、1か月の基本料金は583円である。しかし、減免に要する費用は1か月2750万円と多額なので減免ではなく、水道料金の支払いが困難な方には納付猶予ということに対応したい。

福祉関連施設や高齢者サロンへの助成を

Q コロナ感染症で介護事業所の経営が悪化している。一方、介護施設休業でサービスが利用できない利用者も健康

状態が悪化していると聞く。

高齢者が増える中で介護サービスを減少させるわけにはいかない。コロナ第2波に備えて、感染防止対策用品購入費用の助成はできないか。

A いまだに供給が不安定で、価格も高騰している現段階では、市が補助をして施設等での備蓄を推進するのではなく、県での対応に任せるべきである。サロンは従来の助成金の範囲での対応をお願いする。



(市けんこうだより7~9月号より)
感染症予防には手洗いが欠かせない

就学援助の充実を



山田 好生

Q 本市の準要保護者に対する学校給食費の給付額は小学校年3万5千円、中学校年3万9500円であり、実費の約70%で残りは保護者負担である。県内21市における学校給食費の援助額を実費としている市はどこか。

A 可児市、中津川市、郡上市を除く18市である。

Q 実費額を支給してはどうか。予算はどれだけ必要か。

A 令和元年度の認定者数と給食費の実績額で試算すると、小・中学校合計で約3200万円となり、現在より約1千万円増える。学校給食費の就学援助額の増額は今後検討する。

子ども達の学びの保障のため オンライン授業の導入を

Q オンライン授業導入の課題は何か。

A 現在、学校のWi-Fi環境を整えている段階である。家庭におけるICT環境は個々に違いがあるため、統一して実施することは難しい。学校ではパソコンを活用した学習を進めていく。今後、タブレット導入に対応した学び方や効果的な活用方法の研究が課題である。

年度	H27	H28	H29	H30	R1
児童生徒数	8385	8264	8292	8306	8291
就学援助数	550	597	597	593	609
内要保護	8	3	3	3	2
内準要保護	542	594	594	590	607
援助率(%)	6.6	7.2	7.2	7.1	7.3

過去5年間の要保護・準要保護児童生徒数

外国籍市民に対する 情報伝達はできているか



やまね かずお
山根 一男

Q 新型コロナウイルス感染症に関して、外国籍市民への情報伝達並びに相談体制は適切に行われているか。

A 外国籍市民への情報伝達及び協力依頼については、従来どおり多言語により市のホームページで行う他、防災無線や外国語広報メールを活用している。

さらに、毎月発行する外国語版広報紙において感染症の予防方法や相談窓口の紹介等を行っている。

相談体制については、人づくり課において5名の国際交流員が常駐し、多文化共生センターフレビアでも相談員3名が対応している。

本市の文化芸術を守るために

Q 新型コロナの影響で、文



相談窓口がある多文化共生センターフレビア

化芸術活動が極めて厳しい状況にある。施設での合唱や演奏などの活動再開についてどのように考えているか。

A 地区センターなど市の施設の運営について指針を定めている。それぞれの活動団体においては、その中で出来る活動を検討し、段階を踏みながら徐々に活動の幅を広げていってほしい。



議場の席も間隔を空けた配置に変えました

可児市議会では引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、会議でのマスク着用、議場や会議室の席を離し密着を避けるなどの対策を行っています。

また、新型コロナウイルス感染症や、災害時の対応の一つとして、オンラインによる会議についても検討しています。



災害時等を想定し、オンライン会議を試行

可児市議会では YouTube で議場での一般質問や各委員会の様子を配信しています。いつでも視聴することができますのでご利用ください。



議長交際費と 政務活動費

令和元年度議長交際費を公表

議長交際費とは、議長が議会を代表し対外的な活動をするために、予算の範囲内で支出する経費です。

なお、議長公務の内容は、議会ホームページやフェイスブック等で公開しています。

区 分	件数(件)	支出額(円)
慶 祝	0	0
見 舞	0	0
弔 慰	5	25,000
会 費	23	151,500
協賛・賛助	0	0
そ の 他	0	0
計	28	176,500

令和元年度政務活動費の使い道を公表

政務活動費とは、議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として交付されるもので、本市議会議員には一人当たり月額2万円(年額24万円)が各会派または会派に属さない議員へ交付されます。各会派等は、毎年、収支報告書に領収書を添付し議長に報告しています。また、残額は市に返還しています。

なお、領収書などは、議会ホームページで公開しているほか、議会事務局で閲覧できます。

【改選前 4月～7月】

単位：円

会派名(人数)・議員名	交付額	支出額	支出内訳					
			調査研究費	研修費	広聴費	資料作成費	資料購入費	事務所費
会派きずな(6)	480,000	355,441	229,656	0	0	25,818	0	99,967
真政会(4)	320,000	0	0	0	0	0	0	0
可児未来(3)	240,000	133,317	0	56,970	0	48	7,850	68,449
自由民主クラブ(2)	160,000	7,600	0	0	0	0	6,800	800
日本共産党可児市議団(2)	160,000	32,263	0	0	0	413	23,830	8,020
可児市議会公明党(2)	160,000	39,241	0	0	0	5,848	29,808	3,585
市民の声(2)	160,000	165,305	0	13,580	0	0	0	151,725
酒井 正司	80,000	0	0	0	0	0	0	0
計	1,760,000	733,167	229,656	70,550	0	32,127	68,288	332,546

【改選後 8月～3月】

単位：円

会派名(人数)・議員名	交付額	支出額	支出内訳					
			調査研究費	研修費	広聴費	資料作成費	資料購入費	事務所費
会派きずな(5)	800,000	797,316	307,509	100,700	0	73,845	0	315,262
可児未来(3)	480,000	386,581	0	303,556	0	154	0	82,871
自由民主クラブ(2)	320,000	43,382	29,976	0	0	10,206	3,200	0
日本共産党可児市議団(2)	320,000	318,772	14,988	194,890	0	2,610	89,448	16,836
可児市議会公明党(2)	320,000	47,352	0	10,000	0	13,162	16,200	7,990
真政会(2)	320,000	4,082	0	0	0	0	0	4,082
立憲民主党市民の声(2)	320,000	332,445	29,980	261,583	0	206	7,399	33,277
保守の会(2)	320,000	170,046	0	69,316	0	0	0	100,730
酒井 正司	160,000	16,343	0	0	0	16,343	0	0
松尾 和樹	160,000	178,714	0	58,305	0	0	6,457	113,952
計	3,520,000	2,295,033	382,453	998,350	0	116,526	122,704	675,000

※令和元年8月に議員改選があったため、政務活動費は改選前・後で精算しています。

※支出額の合計が交付額を上回る場合、不足額は各会派等が負担します。

第6回 定例会のお知らせ

8月

24日 開会日（議案説明）
24日
25日 予算決算委員会
26日

9月

3日
4日 一般質問・議案質疑
7日
7日 予算決算委員会
8日
10日 総務企画委員会
11日 建設市民委員会
14日 教育福祉委員会
15日 予算決算委員会
28日 閉会日（委員長報告・討論・採決）

会議は9時開会の予定です（9月28日は13時開会）。
日程は、都合により変更となる場合もあります。



チョット おじゃまします

※今回は、全国市議会議長会及び東海市議会議長会から市議会議員在職30年の表彰を受けられた前可児市議会議員 可児慶志さん（写真右）に広報委員の伊藤健二議員と中村悟議員がお話を伺いました。

議会レポート

このコーナーでは、議会の様々な出来事を、写真で報告していきます。

▼岐阜医療科学大学視察 (6月16日)

教育福祉委員会が岐阜医療科学大学を視察し、新型コロナウイルス感染症への対応や医療連携などについて意見交換を行いました。



▼永年勤続表彰 (6月25日)

全国市議会議長会及び東海市議会議長会から、中村悟議員、山根一男議員が市議会議員在職15年の表彰を受けました。



「地域のかがやき 地域の笑顔」のコーナーはお休みします。

広報委員：最後の一般質問で明智光秀のことを述べておられましたが何か思い入れがあるのですか。

可児さん：可児家は明智家の分家にあたりと知り、以前から関心があった。謀反人と言われてきた光秀の本当の姿を知り地元での復権、再評価を願っている。もともと可児・加茂から東濃にかけては歴史的に重要な地域であり、人的にも多くの偉人を輩出している。そのことを市民の皆様にもよく知っていただきたい。

広報委員：議員生活のなかで一番印象に残っていることは何ですか。

可児さん：電子投票。当時、議会では慎重論が強かったが国、県の意向が強く実施された。心配していたトラブルが現実となり悔しかった。あとは議会改革。立派な賞を頂くなど評価されたこと。

広報委員：今後の可児市に何を期待しますか。

可児さん：歴史的にも交流・物流の要の地域であり、グローバルな視野でまちづくりを考えてほしい。全国から多くの人が集まっている。可児・加茂、東濃地域をはじめ広域的な視野でまちづくりを考えてほしい。

（インタビュー時はマスク着用、3密対策を行っています）

